

令和 8 年度 国分寺市社会教育委員の会議 第 2 回定例会（要旨）

日 時：令和 8 年 6 月 11 日（木）午前 10 時～正午

会 場：国分寺市役所 502 会議室（オンライン併用）

1 開会

2 報告事項

①令和 8 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

→ 事務局から議題の承認、講演が行われた旨を報告した。また、総会に参加した委員から、講演会の様子や感想などの報告があった。

※国分寺市が東京都市町村社会教育委員連絡協議会の会長市になるのは令和 11 年。

3 協議事項

①令和 8 年度教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価について（社会教育課）

→ 事務局から資料について説明を行い、それぞれの施策・取組について委員に意見を求めた。委員からは、取組に対する記載内容、また評価・数値の付け方に関する質問や意見があったことから、委員からの指摘を踏まえ丁寧にまとめていくこととした。

《主な意見等》

【Ⅲ-1-1】

【部活動地域連携・地域展開の推進】

- ・「部活動指導の地域連携・地域移行の拡充」について、指標は地域展開を実施した団体数となっているが、地域展開を進める上では、単に実施種目数を増やすだけではなく、学校、保護者、生徒、地域指導者等の理解や連携体制の構築が重要だと考える。

そのため、地域展開に向けた理解度や地域を含めた関係者間の連携状況など、取組の質を把握できる視点についても検討していただきたい。

- ・「部活動指導の地域連携・地域移行の拡充」について、中学生になってから取組を知るのではなく、地域でさまざまな活動や選択肢があることを、小学校高学年から周知していく必要がある。

【学びを広げるネットワークづくり】

- ・「放課後子どもプランの実施と持続的な運営体制の構築」について、課題・今後の取組にサポーターやコーディネーターの担い手不足と記載があるが、その背景には、地域にどのような人材・活動があるのか、またそれらをどのように放課後子どもプランの活動と結びつけることができるのかという情報が行き渡っていないことが課題なのではないか。各課や関係機関が持つ地域資源の情報を共有し、地域全体で人材を発掘・活用できる仕組みづくりについて検討していただきたい。

【Ⅲ-2-1】

【効果的な情報発信と活用の推進】

- ・「誰もが学習・文化活動ができる情報提供の強化」について、指標はホームページアクセス数になっているが、課題・今後の取組には講座や事業のアーカイブ化・デジタル化が十分に進んでいないことが課題と記載されている。
アーカイブ化という表現からは、講座内容の動画配信や講座情報データの蓄積など様々なイメージが考えられるため、どのようなものを想定しているのかを明確にすることで、課題や今後の取組がより分かりやすくなるのではないかな。

【地域で学び始める機会の創出】

- ・「新規利用者を取り込む事業の推進」について、講座参加者へのアンケート等を実施することで、参加したことで得られた学びや今後の展開に期待する内容等、参加者の声を把握し、今後の事業内容や展開に生かす取組について検討していただきたい。

【Ⅲ-2-2】

【多様な学習機会・支援の充実】

- ・「多様性を意識した講座の拡充」について、指標内容が「公民館主催事業参加者数」のみとなっているため、社会教育課が実施した成果として取組実績の欄に市民大学講座等の参加人数など、具体的な数値を入れた方が、取組状況がより分かりやすくなるのではないかな。
- ・「多様性を意識した講座の拡充」について、障害のある方、外国にルーツのある方、LGBTQの方など、多様な方が参加しやすい環境整備や配慮がどのように行われているのかが、活動実績で見えると、より多様性を意識した取組であることが分かると思う。
- ・「多様性を意識した講座の拡充」について、多様な方が共に学ぶことができる環境づくりをどのように進めていくのかという視点も重要である。

【体験学習の充実】

- ・指標内容「体験学習の参加人数」について、定員設定のある事業の場合、参加人数だけでは取組の広がりや成果を測ることが難しい面もあるため、指標の見せ方については検討が必要かと考える。
- ・わんぱく学校や地域リーダー講習会の卒業生など、地域での活動が期待される人材について、人材バンクへの登録等も含め、地域の人材をどのように見える化し、地域につなげていくかという視点が重要である。

●点検・評価レジメ

- ・部活動の地域展開・地域連携については、平日と休日で活動主体が分かれているが、実際には子どもたちの活動や成長は、それに関係なくつながっているため、学校指導課と社会教育課で連携しながら進めていただきたい。
- ・地域クラブ活動を継続的に実施するにあたり、活動場所の確保が課題である。地域と連携しながら、安定的に活動できる場所についても考えていただきたい。
- ・中学生が様々な活動を経験する中で、自分が興味を持つことを見つけられるような環境づくりが重要である。大会等の成果だけではなく、地域のつながりや学びの機会を大切にしていきたい。

- ・部活動の推進は、中学生が活動を通して何を得ていくかという視点が重要である。その中で、地域がどのように関わっていき、学校や行政がどのような支援を行っていくのかを検討していただきたい。また、アンケート結果からも、生徒や保護者が地域展開について十分理解できていない部分や、活動に対するニーズや不安があることが分かるため、引き続き丁寧な周知を行いながら進めていただきたい。

4 閉会